

令和6年度 第3回酒々井町上下水道事業運営審議会会議録

1. 日 時：令和7年2月13日（木） 14時55分～16時20分

2. 場 所：尾上浄水場 2階会議室

3. 出 席：【委員】

加瀬会長、江澤副会長、竹尾委員、齊藤委員、大谷委員、小池委員、櫻井委員、  
鱒淵委員、住田委員(印旛沼下水道事務所長)

【町】

小坂町長、(事務局)伊藤参事、仁和副主査、向後主任主事、鬼丸主幹

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>定刻前ではございますが、ただ今より令和6年度第3回酒々井町上下水道事業運営審議会を開会いたします。</p> <p>本日、進行を務めます上下水道課の鬼丸です。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、加瀬会長よりご挨拶をお願いいたします。</p> |
| 加瀬会長 | <p>本日は令和7年度の水道、下水道事業会計それぞれの当初予算（案）について諮問されております。両案とも令和7年度の事業執行に係る重要な議題でございます。慎重なご審議をいただくことをお願いいたします。</p>                                |
| 事務局  | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、小坂町長よりご挨拶申し上げます。</p>   |
| 町長   | <p>今日は令和7年度の上下水道予算をご審議いただけるわけでございますが、慎重なご審議をお願いするとともに皆様方への御礼、感謝を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>                       |
| 事務局  | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入りたいと存じますが、議事の進行につきましては、審議会設置条例第5条の規定により、加瀬会長に議長をお務めいただきますので、よろしくお願いいたします。</p>                            |
| 加瀬会長 | <p>それでは規定によりまして、議長を務めさせていただきます。委員の皆様には議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入る前に、次第の第4 報告事項について、事務局から報告をお願いします。</p>                     |
| 参事   | <p>このたび12月定例会におきまして長らく皆様にご審議いただいて参りました</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>下水道使用料の改定につきまして、ご答申いただいた内容に沿って議決いただきましたことで、本年7月からそれを施行という運びになりましたので、改めてご報告させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>  |
| 加瀬 会長 | <p>では、これより議事に入ります。本日の案件は令和7年度の上下水道事業、それぞれの当初予算案についてであります。本件について、事務局の説明を求めます。</p>   |
| 参 事   | <p>それでは、令和7年度水道事業会計の当初予算案の概要を、私から申し上げさせていただきます。</p> <p>(配付資料により説明)</p> <p>続きまして、令和7年度下水道事業会計の説明をさせていただきます。</p> <p>(配付資料により説明)</p>  |
| 加瀬 会長 | <p>ただ今の事務局の説明に対しまして、審議いたします。質疑あるいはご意見のございます方は、挙手をお願いします。</p>   |
| 齊藤 委員 | <p>下水道の方でよろしいですか。7年度予算は値上げが反映されますよね。資料の一番最後に令和6年度当初と決算見込と7年度、この表で見ると、6年度当初の損益は7,700万ほどあったが7年度当初では減っている。結果的に値上げしたことによって2,700万から3,000万くらいの影響しかない、というふうにはしか私は読めなかったのですが、営業収益、営業外収益から見ると、もっと増えている。今回の値上げ的なスケールのもをもう2回やらないという考えですか？</p>   |
| 参 事   | <p>昨年30%強上げたほうがいいんじゃないかっていう議論も当然あった中で、最終的には25%ということでは落ち着いたわけでありませうけれども、あのとき25%だと0ベースまではちょっと足りないということでありました。そういう中で始まって3年間、様子を見ましょうということでご結審いただいたと思うんですが、7年度に「料金徴収業務委託」が令和7年6月で契約期間が満了するため改めて長期契約を結びますが、人件費等の増加により契約金額の増加が見込まれたことが1つ。もう1つ、「内水位浸水想定地図の作成」というのが義務づけでございまして、1,000万単位以上の費用が出るものが発生したこと、以上2点によるものが主な要因です。</p> |
| 齊藤 委員 | <p>歳出の特殊要因、それでいくと、赤字が本来縮まるはずだった、と理解するが、それでも全体の赤字は想定どおり埋まらないのでは。それから3年後、令和9年</p>  |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>度に改定しようとする7～8年度の赤字は9年度にしわ寄せとして出てこないのですか？</p>  |
| 事務局  | <p>まず、下水道の費用は予算比較表を見ていただくと、営業費用の中で最も大きい減価償却費は費用としては計上しておりますが、現金が出ていかない費用ということです。会計上ではこれの影響によりマイナスが出ますが、ここまで現金はマイナスになりません。</p> <p>では実際、現金がどうなるかという、お配りした令和7年度酒々井町下水道事業会計予定キャッシュフロー計算書として、7年度内での実際の現金の動きを表したものになります。最終的には資金増加額というのが、最終的な実際の現金のプラスマイナスになります。</p> <p>未処理欠損金は膨らんではいいますが、すぐに現金が枯渇して、事業が回らなくなるというような形にはなりません。</p> |
| 参事   | <p>資料の中で、これから更新すべき事業として、大規模な更新工事がこれだけ控えているのがあると思いますが、年単位で1億かかるような更新工事がこれから出てくるところで、持っている自己資金がだんだん危なくなってきました、ということから改定しなければなりませんね、という話。この自己資金は、せめて減らさないようにしてかなきゃいけない。</p>   |
| 齊藤委員 | <p>会長からも話があった、下水管の事故があったことにより国の要求がどこまであるのかわからないが、老朽管点検の指示が国からあったのだろうか。また、それに対し補助金制度はありますか？</p>   |
| 事務局  | <p>点検に対しての費用ですが、先ほど説明の中でもありました「ストックマネジメント計画」を作成した際に、この計画に則って行う点検については国庫補助がつきますが、それ以外の、例えば今回の緊急点検等に関しては、今のところ補助金の交付は、ありません。</p>   |
| 齊藤委員 | <p>具体的に、酒々井町はその計画で点検するようになっていますか？</p>  |
| 事務局  | <p>その計画につきましては方針を作成しているところで、7年度収益的支出で、ストックマネジメント計画策定事業を計上していますが、来年度、計画に基づいたカメラ調査をする予定になっております。</p>   |
| 参事   | <p>計画上載っているものの点検については、現行の交付金制度の中であるということです。それに採択されるように計画を今策定しながらエントリーします、ということで、今後もあるかどうかはわかりませんが、今はあるということです。</p>   |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>もう一方、おっしゃられたこういう今事故があっちこっちで起きていて、国を挙げて緊急対策だということで臨時的な交付金措置が発出されてるかということ、それについての情報は届いておりません。ただ新たに創設されるかはわかりませんが、その可能性はなくはないのではと。ただ現行で点検するとなれば、計画上載っている分は交付金の中で交付されるもので、急にここをやりたいのはいかがでしょうか補助が欲しいという場合は、今ないということです。</p> |
| 齊藤委員  | <p>今計画しているのは古い管や、そういうのを含んでやろうとしていますか？</p>  |
| 事務局   | <p>下水道管の建設経過年数、管の大きさ、深さ等をリスクとして捉え、そのリスクの高いものから優先順位をつけて行う予定です。基本的に「古い管は先に点検するものである」という認識でやっております。</p>   |
| 江澤副会長 | <p>2点ほどいいですか。今のストックマネジメント関係で国庫補助金がとりあえずついて、あと自己資金というのは財源は何ですか？</p>   |
| 事務局   | <p>こちら自己資金はいわゆる下水道事業会計の方で持っている下水道事業の自己資金で、一般会計で言うところの一般財源ですので、そのまま下水事業会計のお金になります。ここは特定財源がついていない。自己負担です。</p>  |
| 江澤副会長 | <p>このストックマネジメントの計画は令和7年度にこの予算で完成するという理解でよろしいですか？</p>   |
| 事務局   | <p>ストックマネジメント計画につきましては、令和8年度までかけて作成する予定です。</p>   |
| 江澤副会長 | <p>その自己資金から、それを含んでいると？</p>   |
| 事務局   | <p>自己資金は、あくまで7年度だけです。</p>  |
| 江澤副会長 | <p>国庫補助金はこれも7年度だけという理解で事業が8年度までやるということ、国庫補助金は同じ率で来るという理解でいいですか？</p>  |
| 事務局   | <p>国庫補助金は対象事業費の50%です。</p>  |
| 江澤副会長 | <p>2年かかる理由は何ですか？</p>   |
| 参事    | <p>実は着手しているのですが、マッピング作業がすごく時間がかかり長引いてお</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>りまして、事業として。要は、今までの管網図とか紙ベースのものを全部データ化する作業がありまして、それを整理するのに相当な労力と時間がかかりますから、それが想定より1年長引いております。本当は予定ですと6年度・7年度には終わっている状況でしたけど、慎重にそれを綺麗に仕上げないとこのストックマネジメント計画は後のあらゆるこの事業に影響する、一番基幹となる計画になるものですから、それを踏まえて慎重に進めているということです。費用的にはウエイトが大きいですが、それだけ大事なものということでご理解いただきたいと思います。</p> |
| 江澤副会長 | <p>「内水位浸水想定地図の作成」は、今回は交付金つくからやるんだろうけれども、区域の作成という目的は何ですか？防災関係もあるんだろうけど、ちょっとわからない。</p>  |
| 事務局   | <p>目的と申しますか、令和3年度に「水防法」という法律が改正されまして、下水道区域において想定最大降雨に対する浸水区域というのを作成しまして、それを指定しなければならないという、法律が変わった関係で今やっているところです。</p>  |
| 竹尾委員  | <p>下水道事業予算の特定財源内訳、資本的支出の中で上岩橋地区雨水ポンプ整備、これはどこのことですか？</p>   |
| 参事    | <p>お尋ねのところは昨年、1件の方と交渉が残念ながら破談になったということをお伝えして、新たにその付近の2件の方と交渉させていただくための費用ということで計上させていただいております。</p>   |
| 竹尾委員  | <p>当初計画したところを1件は購入されたんですけども、1件は当初買った土地とくっついているところですか？</p>   |
| 参事    | <p>はい。</p>  |
| 加瀬会長  | <p>ほかにご質問等ある方はいらっしゃいますか。<br/>ないようですので、これより採決を行います。<br/>まず議題①「令和7年度酒々井町水道事業会計予算(案)」について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いいたします。</p>   |
| 委員一同  | <p>(全員挙手)</p>   |
| 加瀬会長  | <p>ありがとうございました。全員賛成でございます。</p>  |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>本件は原案のとおり承認することと決定いたしました。</p>   |
| 加瀬会長 | <p>次に議題②「令和7年度酒々井町下水道事業会計予算(案)」について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いいたします。</p>   |
| 委員一同 | <p>(全員挙手)</p>  |
| 加瀬会長 | <p>ありがとうございました。これも全員賛成でございます。<br/>よって本件は原案のとおり承認することと決定いたしました。どうもありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、本日の議事は終了といたします。ご協力いただきまして、ありがとうございました。</p> |
| 事務局  | <p>皆さん慎重なご審議ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第3回酒々井町上下水道事業運営審議会を閉会いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。</p>  |